

中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ：解答用紙

(財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例)

第1問 (配点 25点) **VERY GOOD!!**

(設問1)

	(a)	(b)
①	売上高総利益率	26.39 (%)
②	有形固定資産回転率	5.30 (回)
	自己資本比率	15.82 (%)

VERY GOOD!!

10

(設問2) 事例文のヒントの活用とキーワードとも対応できています。

特徴は、①顧客志向の徹底やアフターケアの充実で収益力がある、②土地の活用不足で効率性が低く、借入依存で安全材も低い

12

第2問 (配点 30点)

(設問1)

(a)	$\text{損益分岐点売上高 } x = \frac{\text{固定費 } 28}{\text{限界利益率 } 35\%} = 80$ よって、損益分岐点売上高は、80百万円である。
(b)	80 百万円

3

(設問2)

(a)	効果が出る場合のCF = 95.29 効果が出ない場合のCF = 11.06 よって、正味現在価値は、94.23百万円となる
(ii)	94.23 百万円

3

(i)	営業が順調に推移した場合のCF = 42.74 営業が順調に推移しない場合のCF = 42.88 $42.74 + 42.88 - 30 = 55.63$ よって、正味現在価値は、55.63百万円となる。
(ii)	55.63 百万円

3

合格点を確保できています。MMCの配点・採点基準なので、実際とは異なることもありますが、得点を取るべきところで取れている印象です。

受験番号(楷書で丁寧に書きください)	イニシャル
20215036	名 氏 (Y・N)

採点欄
60

(c) **VERY GOOD!!**

2

①

第3問 (配点 20点)

(設問1) **VERY GOOD!!**

8

買収が成立した場合、負ののれんが100万円発生し、100万円を特別利益で処理する。

(設問2) 負債が増加するのはD社ですね。

4

買収リス7は、①E社の負債が増加するため負債比率が上昇、②特別利益が発生するため法人税の支払額が増加し、収益性が低下する。

第4問 (配点 25点)

(設問1) **VERY GOOD!!**

10

(a)	4.31 %
(b)	2.55 %

(設問2) 条件設定が緩すぎるので、4.18の正解者はほぼいません。

0

	4.17 %
--	--------

(設問3) 視点はOKです。貢献利益は事業部長が管理できない費用もあるので、

(a) 管理可能利益なら、なお良かったです。

投資が基準の為、利益が出ても評価が低い。

(b)

5

貢献利益を基準にして事業部制評価の導入。

視点はOKです。貢献利益は事業部長が管理できない費用もあるので、管理可能利益なら、なお良かったです。

MMC講師 伊藤